

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域間幹線系統)

6年度

都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に要する国庫補助額 (千円)	特例措置
山形県	山交バス(株)	(1) 山形市役所(六角・荒砥)長井	12,146.5	1
		(2) 山交ビル(荒谷・石倉)天童	7,180.5	
		(3) 県立中央病院(表蔵王・四ツ谷)高松葉山	1,001.5	
		(4) 山形(若葉町・南山形)高松葉山	8,353.0	
		(5) 寒河江駅前(松川・左沢)宮宿	2,433.0	
		(6) 寒河江駅前 ~ 谷地	2,764.5	
		(7) 山交ビル ~ 寒河江駅前	7,181.5	
		(8) 天童 ~ 寒河江	4,412.5	3
		(9) 天童(東根市役所)北町	960.5	
		(10) 山交ビル(県立中央病院・高嶺)天童温泉	829.5	
		(11) 山交ビル(漆山)天童温泉	7,881.0	
		(14) 新庄 ~ 仙台	42,416.0	3
		(15) 県立病院 ~ 金山	7,887.5	
		小計	105,447.0	
		山交バス(株)、宮城交通(株)	(12) 上山~仙台	8,345.5
	小計	8,345.0		
	山交バス(株)、ジェイアールバス東北(株)	(13) 米沢~仙台	42,068.0	3
	小計	42,068.0		
	山交バス(株)、庄内交通(株)	(18) 山形(月山口)鶴岡	17,210.5	
	小計	17,210.0	3	
	株新庄輸送サービス	(16) 県立病院~肘折	3,376.5	
	小計	3,376.0		
	㈲はながさバス	(17) 銀山線	3,522.5	3
	小計	3,522.0		
	庄内交通(株)	(19) 酒田(エスマール)山形	36,260.0	
	(20) 鶴岡-三川	7,142.0	3	
	(21) 三川-酒田	6,986.0	3	
(22) 鶴岡-いでは文化記念館	8,322.0	3		
小計	58,710.0			
合 計			238,678.0	

※令和7年度、令和8年度については、令和6年度事業から土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略。

(注)

1. 本表に記載する運行予定系統を示した地図(運行予定系統が熊本地震被災市町村における応急仮設住宅の1キロメートル以内を経由することを図示したものを含む)を添付すること。
2. 「特例措置」には、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域間幹線系統に係る特例措置の適用を受ける場合には「1」を、平成29年8月2日改正附則第2条の規定に該当する場合には「2」を、補助金交付要綱別表2-5.ただし書きに該当する場合には「3」を記載する。
3. 補助対象期間の計画と比較し、翌年度及び翌々年度の計画が同じ若しくは曜日の違いによる運行回数以外に変更がない場合については、その旨を記載することで足りるものとする。(記載例「令和〇年度、令和〇年度については、令和〇年度事業から 土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略」)

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域間幹線系統用)

事業名称 山交バス株式会社、宮城交通株式会社						
1. 申請事業者の概要						
【山交バス株式会社】						
補助対象期間の 前々年度(基準期間)の損益状況	営業収益	938,690千円	営業外収益	89,529千円	経常収益(イ)	1,028,219千円
	営業費用	1,629,933千円	営業外費用	3,816千円	経常費用(ロ)	1,633,749千円
	営業損益	△691,243千円	営業外損益	65,712千円	経常損益	△625,531千円
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	km	5,088,500.7			経常収支率	61.62%
【宮城交通株式会社】						
補助対象期間の 前々年度(基準期間)の損益状況	営業収益	2,900,601千円	営業外収益	97,655千円	経常収益(イ)	2,998,256千円
	営業費用	3,440,954千円	営業外費用	230千円	経常費用(ロ)	3,441,184千円
	営業損益	△540,353千円	営業外損益	97,425千円	経常損益	△442,928千円
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	km	5,574,071.8			経常収支率	87.13%
【山交バス株式会社】						
基準期間の前々年度の 損益状況	営業収益	656,928千円	営業外収益	49,112千円	経常収益(イ)	706,038千円
	営業費用	1,227,399千円	営業外費用	1,539千円	経常費用(ロ)	1,228,938千円
	営業損益	△570,473千円	営業外損益	47,573千円	経常損益	△522,900千円
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ)	km	3,804,498.9			経常収支率	57.45%
【宮城交通株式会社】						
基準期間の前々年度の 損益状況	営業収益	2,637,531千円	営業外収益	116,252千円	経常収益(イ)	2,753,783千円
	営業費用	3,345,034千円	営業外費用	1,006千円	経常費用(ロ)	3,346,040千円
	営業損益	△707,503千円	営業外損益	115,246千円	経常損益	△592,257千円
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ)	km	5,371,136.7			経常収支率	82.30%
【山交バス株式会社】						
基準期間の前々年度の 損益状況	営業収益	765,003千円	営業外収益	14,351千円	経常収益(イ)	779,354千円
	営業費用	1,236,082千円	営業外費用	2,871千円	経常費用(ロ)	1,238,953千円
	営業損益	△471,079千円	営業外損益	11,680千円	経常損益	△459,399千円
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ)	km	3,884,479.5			経常収支率	62.91%
【宮城交通株式会社】						
基準期間の前々年度の 損益状況	営業収益	2,838,619千円	営業外収益	123,289千円	経常収益(イ)	2,961,918千円
	営業費用	3,753,227千円	営業外費用	354千円	経常費用(ロ)	3,753,581千円
	営業損益	△914,608千円	営業外損益	122,945千円	経常損益	△791,663千円
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ)	km	5,759,342.7			経常収支率	78.91%

(補助対象事業者の「基準期間」を最終年度とする連続した過去3年間(における実車走行キロ当たり経常費用率)

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用 (基準期間の前々年度) 円/キロ(ハ)	補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用 (基準期間の前々年度) 円/キロ(ハ)	補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用 (基準期間) 円/キロ(ハ)
羽越	318円69銭	323円02銭	320円24銭
東北	318円69銭	323円02銭	320円24銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用 (基準期間の前々年度) 円/キロ(ハ)	補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用 (基準期間の前々年度) 円/キロ(ハ)	補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用 (基準期間) 円/キロ(ハ)
羽越	65円73銭	622円96銭	617円35銭
東北	65円73銭	622円96銭	617円35銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用 (基準期間の前々年度) 円/キロ(ハ)	補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用 (基準期間の前々年度) 円/キロ(ハ)	補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用 (基準期間) 円/キロ(ハ)
羽越	485円31銭	472円99銭	468円79銭
東北	485円31銭	472円99銭	468円79銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

補助ブロック名	補助対象事業者の実車走行キロ当たり 経常費用 (a+b/c)×3=ニ	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとのいずれか少ない値 ハ	キロ当たり経常収益 イ×ハ	【山交バス株式会社】	【宮城交通株式会社】
					キロ当たり経常収益 イ×ハ	キロ当たり経常収益 イ×ハ
羽越	475円69銭	368円05銭	368円05銭	367円62銭	197円35銭	537円89銭
東北	475円69銭	355円08銭	355円08銭	367円62銭	197円35銭	537円89銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

補助ブロック名	申請番号	特別措置	運行系統名	運行系統	計画運行回数	計画平均乗車密度	計画輸送量	系統キロ程	地域公共交通確保事業を実施する区間におけるキロ程	系統キロ程と地域公共交通確保事業を実施する区間におけるキロ程との比率	補助ブロック外乗入部分のキロ程	同一補助ブロック範囲内乗入部分のキロ程	他路線との割合部分に係るキロ程	他路線との割合部分以外のキロ程の比率	補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック範囲内乗入部分及び他路線との割合部分以外のキロ程の比率
羽越	12	3	上山ー仙台	高松東山道	県庁・市役所前	366日	822人	往 80.9km(平均) 復 81.0km	往 80.9km(平均) 復 80.9km	往・Km(平均) 復・Km	往 51.1km(平均) 復 51.2km	往 51.2km(平均) 復 51.2km	往 11.2km 復 11.2km	13.9%	22.14%
東北	12	3	上山ー仙台	高松東山道	県庁・市役所前	366日	822人	往 80.9km(平均) 復 81.0km	往 80.9km(平均) 復 80.9km	往・Km(平均) 復・Km	往 29.9km(平均) 復 29.7km	往 29.7km(平均) 復 29.7km	往 51.2km 復 51.2km	63.2%	0.00%
合計			系統					往・Km 復・Km	往・Km 復・Km	往・Km 復・Km	往・Km 復・Km	往・Km 復・Km	往・Km 復・Km	%	%

補助ブロック名	申請番号	特別措置	補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック範囲内乗入部分以外のキロ程の比率	計画実車走行キロ	補助対象経常費用の算出	補助対象系統のキロ当たり経常収益						補助対象経常費用の算出	補助対象経常収益を控除した額	補助対象経常費用の算出	タ又はのうちのいずれか少ない値の比率				
						基準期間の前々年度		基準期間の前々年度		基準期間						補助対象系統のキロ当たり経常収益			
経常収益	実車走行キロ	経常収益	実車走行キロ	経常収益	実車走行キロ	経常収益	実車走行キロ	経常収益	実車走行キロ	経常収益	実車走行キロ	経常収益	実車走行キロ	メロフ以上の額	カ×ロ÷20÷レ				
羽越	12	3	36.7%	443,113.1 km	103,087,776 円	151円91銭	61,432,777 円	429,607.3 km	142円99銭	57,391,451 円	427,811.1 km	134円15銭	76,964,861 円	442,294.0 km	172円61銭	67,311,311 円	95,774,460 円	73,388,499 円	73,388,499 円
東北	12	3	63.2%	443,113.1 km	157,342,599 円	151円91銭	61,432,777 円	429,607.3 km	142円99銭	57,391,451 円	427,811.1 km	134円15銭	76,964,861 円	442,294.0 km	172円61銭	67,311,311 円	90,027,268 円	70,803,269 円	70,803,269 円
合計			%	. km	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

補助ブロック名	申請番号	特別措置	ソメツ	ソメツ	計画平均乗車密度の算出	補助対象経常費用	計画額	経常費用から経常収益を控除した額	額負担者から経常収益を控除した額	ウの負担者とその負担割合													
										都道府県	市区町村	その他の者	事業者自己負担	「その他の者」の具体的な負担割合									
負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合										
羽越	12	3	16,691,707 円	0 円	円	16,691 千円	8,345.5 千円	143,471,159 円	136,125,468 円	8,345,500 円	6.2%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
東北	12	3	0 円	0 円	円	0 千円	0.0 千円	143,471,159 円	143,471,159 円	0 円	0%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%
合計			円	円	円	千円	千円	円	円	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%	円	%

※令和7年度、令和8年度については、令和6年度事業から土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略。